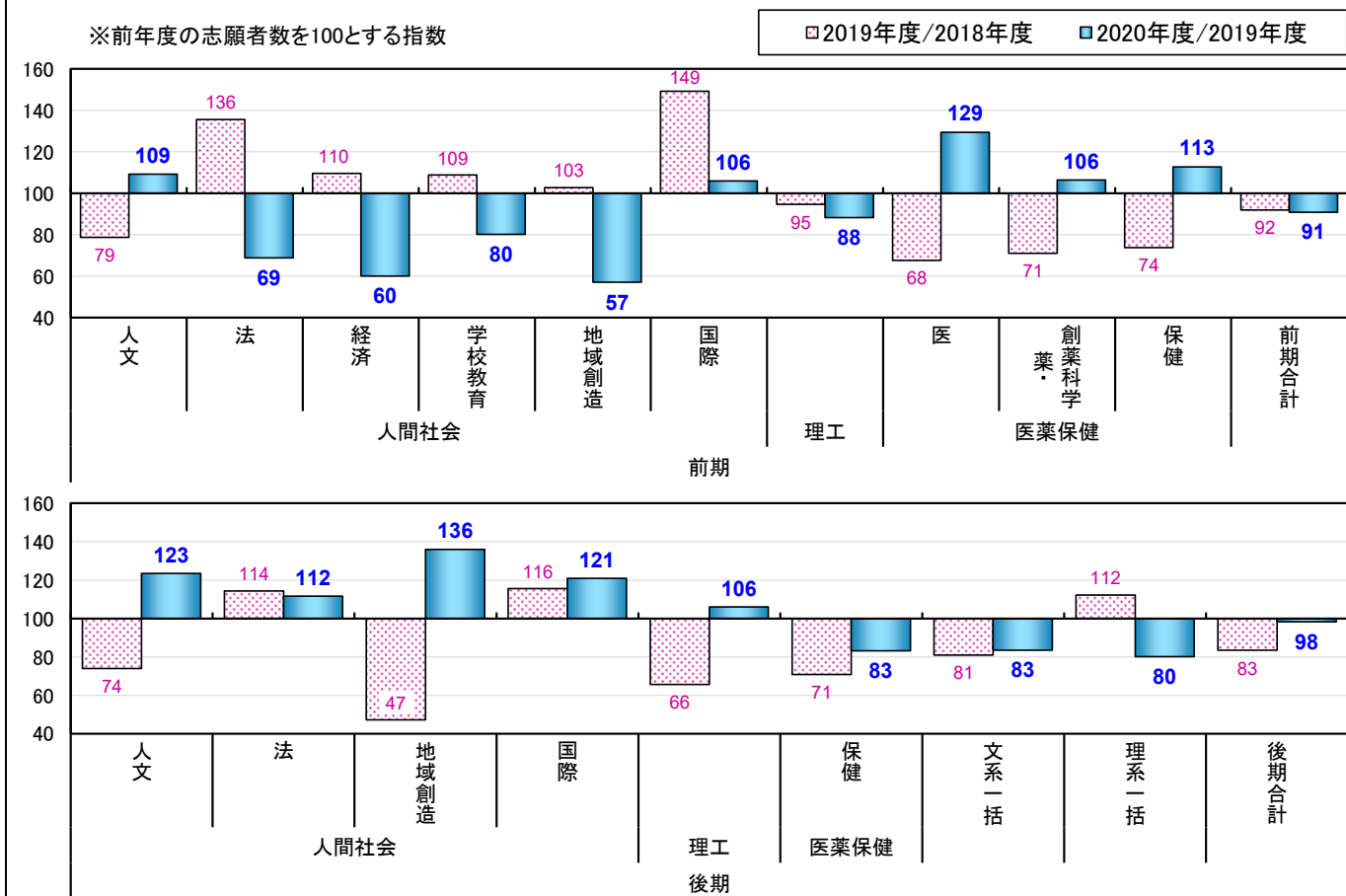


2020年度入試状況分析【国公立大】

金沢大：前期は2年連続減少、後期も微減だが2年連続減少 前期：-266人 後期：-40人



入試変更点 第1段階選抜基準変更：医薬保健(医)〈前〉…約3.5倍(通過予定人数：294人)→約3倍(通過予定人数：252人)

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は266人(91)の減少で、2年連続減少。志願者数は2,700人を下回った。後期は40人(98)の微減だが、2年連続減少。

＜前期日程＞

- 人間社会(77)は、大幅減少。学類別で増加したのは2学類で、(人文)(109)は増加し、2011年度以降、前年度の反動による増減が継続。(国際)(106)も大幅増加の反動はなく、2年連続増加で志願者数も2年連続100人を上回った。一方で減少した4学類は全て大幅減少で、(地域創造)(57)は2年連続増加の反動で半減近い大幅減少、志願者数が100人を下回ったのは2015年度以来。(経済)(60)は系統への不人気により大幅減少。(法)(69)は2方式ともに大幅減少し、2015年度以降、前年度の反動による増減が継続。(学校教育)(80)は2年連続増加の反動で大幅減少。
- 理工(88)は、2年連続減少。志願者数は900人を下回り、志願倍率も1.9倍→1.7倍にダウン。学類別では、(地球社会基盤)(124)は前年度大幅減少で志願倍率が1.3倍だった反動で大幅増加。一方で、(生命理工)(70)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。(数物科学)(90)は3年連続減少で、志願倍率は1.7倍→1.5倍にダウン。
- 医薬保健(医)(129)は、大幅増加。2015年度以降、前年度の反動による大幅な増減が継続。志願倍率は3.7倍で、第1段階選抜が実施され合格率は80.8%だった。
- 医薬保健(保健)(113)は、前年度大幅減少の反動で増加。専攻別では、増加した3専攻は全て大幅増加で、(保健/理学療法)(143)は2年連続大幅増加、(保健/看護)(123)と(保健/放射線技術)(119)は前年度大幅減少の反動。一方で(保健/作業療法)(68)は2年連続大幅減少。
- 医薬保健(薬・創薬科学)(106)は、2年連続減少の反動でやや増加だが、志願者数は200人に届かなかった。

＜後期日程＞

- 人間社会(122)は、3年連続減少の反動で大幅増加。学類別では、募集を行う4学類全てが増加。その中で、前年度半減以下だった(地域創造)(136)をはじめ、(人文)(123)、(国際)(121)は大幅増加。
- 理工(106)は、2年連続大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。学類別では、(地球社会基盤)(126)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。(物質化学)(108)は増加だが、前年度半減以下だった反動は小さかった。(数物科学)(87)は前年度微減に続き減少。
- 医薬保健(保健)(83)は、2年連続大幅減少。専攻別では、(保健/検査技術)(110)は2年連続大幅減少の反動で増加したが、(保健/放射線技術)(75)と(保健/看護)(83)は2年連続大幅減少。
- 後期一括入試〈文系〉(83)は、2年連続大幅減少。実施3年目だが、志願倍率は8.1倍→6.5倍→5.5倍とダウン。
- 後期一括入試〈理系〉(80)は、前年度増加の反動で大幅減少。志願倍率は8.0倍→6.4倍にダウン。